

専門知識と技術を学ぶ養成施設

実習では自動車を分解整備

秋田技術専門校の自動車整備科では9月上旬、訓練生たちが実習を行っていました。1年生(20人)はエンジン、2年生(16人)は変速機を分解整備。グループごとに部品を車体から外したり、点検した部品を組み立てたり。真剣な表情で作業を進めていました。

訓練生たちは高校卒業後に技術専門校に入校。年度初めと冬季に座学を通じて法令や車の構造に関する知識を身に付け、6~12月は主に実習

に取り組んでいます。実習ではブレーキ、電装品などもオーバーホール。2年間で自動車の全ての点検整備方法を習得します。

指導員の澤野樹世さんは「本校の実習は、使用済みの公用車を活用しています。また、県内自動車販売店の協力を得て最新の電気自動車も取り扱うため、さまざまな年式の車両にじっくり触れられるのが特徴です」と話していました。



実習で変速機の分解整備を行う秋田技術専門校の2年生



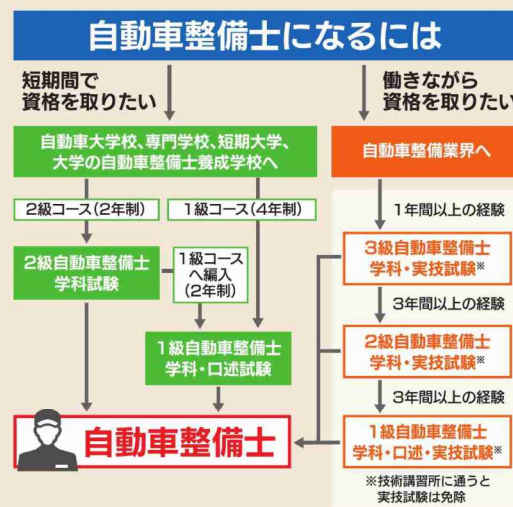
エンジンを整備する1年生

2年で2級の受験資格取得

自動車整備士は1~3級と、「特殊」の4種類に分けられます。同じ1級でも大型、小型、二輪の資格があり、それぞれ業務内容が異なります。ほかに法令により定められた自動車検査(車検)を行う「自動車検査員」という国家資格もあります。また各自動車メーカーが独自の整備資格を設けており、働きながらキャリアアップできることが魅力の一つです。

県自動車整備振興会も県内の整備士のキャリア形成を支援しています。国家資格の取得を目指す人に向けて、技術講習を実施。整備工場の新入社員や中堅社員を対象に人材養成講座も開いています。

また先進技術への対応をサポートするため、昨年度から、電子制御装置の整備を学ぶ研修もスタート。自動運行装置などの整備に対応できる工場を増やす取り組みを進めています。



INTERVIEW



「信頼される整備士を目指します」

秋田技術専門校 自動車整備科2年
佐藤 虹輝 さん

—自動車整備士を目指したきっかけは。「子どもの頃から工作が好きで由利工業高校の機械科に進学。実習で体験した小型エンジンの分解と組み立てがとても面白くて、整備の仕事に興味を持ちました。自動車整備士の国家資格を取得するため、養成施設に通うことにしました。学

費や県内就職のことを考えて県立の技術専門校を選びました」

—専門校では、どんなことを学んでいますか。

「今はオートマチック車の変速機の分解整備に取り組んでいます。変速機は構造が複雑で、外した部品をうまく取り付けられない時もあります。1年生の時よりも整備の難易度がアップしていますが、仲間の意見を聞いたり、相談し合ったりして整備を進めていくのが楽しい。専門校に通うよ

うになって、自動車がさらに好きになりました」

—今後の目標を教えてください。

「来春から県内自動車販売店の整備工場で働くことが決まっています。自動車検査員の資格や、自動車メーカーが独自に設けている整備資格を取得して、信頼される整備士を目指します。好きなスポーツカーの整備にも関わってみたいです」